

こうち子ども 未来フォーラム 2023



実施報告書

Discussion Theme 〈ディスカッションテーマ〉

将来の夢・未来の私

夢がなくても、〇〇に夢中なんです!
～将来歩む道、探し中～

長所対決!!から探る未来の高知
～「高知で暮らしたい」vs「県外で暮らしてみたい」～

LGBTQ+多様な性を語ろう
～性の多様性を認め、人々が暮らしやすい高知へ～





高知県子ども条例の概要

基

子どもは、次代の社会をになう大切な存在。
年齢や成熟度に応じ、成長できること。



本

子どもが、家庭や学校、地域社会の活動を通じ、
人間性や社会性を育むことができる環境をつくること。

理

子どもが、成長とともに高い規範意識や自尊心、
他者を思いやる心を身に付けることができる環境をつくること。

念

保護者や学校関係者等、地域社会や行政が
子どものために連携すること。



保護者の責務

家庭は子どもの育つ基盤であり、保護者は子育てについて重要な役割を持ち、子どもを大切に育てる責務があります。

また、子どもが高い規範意識を身に付け、自ら力を発揮して成長することができるよう、深い愛情を持って育てなければなりません。



学校関係者等の責務

学校関係者等は、子どもの安全を確保する必要があります。

また、子どもが安心して、学びながら成長することができる教育環境づくりに努めなければなりません。

連携



県民の責務

県民は、大人の意識や行動が子どもに与える影響の大きさを自覚し、自らの規範意識を高める必要があります。

また、子どもが健やかに成長することができる社会環境づくりに努めなければなりません。



行政の責務

県や市町村は互いに連携し、子どもが健やかに成長することができる環境づくりに関する施策を策定し、実施する責務があります。

また、地域の住民が協力して行う取組を支援しなければなりません。

※この条例において、「子ども」とは、18歳未満の者をいいます。

目次 INDEX

概要	01
講演	
講演テーマ・自分を変える～僕が絵を描く理由～ 講師・絵描きの MARCHY(マーシー) 氏	04
グループディスカッション	
●A グループテーマ/ 将来の夢、未来の私	06
●B グループテーマ/ 夢がなくても、〇〇に夢中なんです! ～将来歩む道、探し中～	08
●C グループテーマ/ 長所対決!! から探る未来の高知 ～「高知で暮らしたい」vs「県外で暮らしてみたい」～	10
●D グループテーマ/ LGBTQ+多様な性を語ろう ～性の多様性を認め、人々が暮らしやすい高知へ～	12
専門家講評	14
講師展示・アイスブレイク	16
アンケート	18
こども基本法	20
高知家こどもまんなか応援サポーター宣言	22
参加者名簿	24

こうち子ども 未来フォーラム2023



日時 **11月23日(木・祝)**
13:00～16:00

場所 **高知県人権啓発センター
6階ホール**
〒780-0870
高知県高知市本町4丁目1番37号



Program

- ◎13:00～13:10 **オープニング・主催者挨拶**
- ◎13:10～13:50 **講演 絵描きのMARCHY氏**
テーマ **自分を変える**
～僕が絵を描く理由～
- ◎14:00～15:20 **グループディスカッション**
■将来の夢・未来の私
■夢がなくても、〇〇に夢中なんです!
～将来歩む道、探し中～
■長所対決!!から探る未来の高知
～「高知で暮らしたい」vs「県外で暮らしてみたい」～
■LGBTQ+多様な性を語ろう
～性の多様性を認め、人々が暮らしやすい高知へ～
- ◎15:30～16:00 **プレゼンテーション**





講演テーマ

自分を変える ～僕が絵を描く理由～

講師

絵描きの MARCHY氏 (マーシー)

Profile

自己主張が苦手だった過去や病気を抱えながらも「似た境遇の人にパワーを届けたい」と独創的な絵画やアニメーションを制作し、個展を開くなど精力的に活動する須崎市出身の若手アーティスト。

高知で活動している「絵描きのMARCHY (マーシー)」こと、吉村勝己氏を迎え、講演いただきました。

はじめに、彼から映像関係や展覧会、他にも服の制作・販売を主な仕事としていることの紹介がありました。

講演の開始と同時に彼が制作した動画(アニメーション)を視聴しました。この視聴した4分間の動画では、1コマ1コマ約2万枚を手描きで用意したそうです。

彼は、仕事内容から、「美大に行ったのか」と聞かれることもあるそうですが、独学で絵を描き始め、もともとはキャンバス作品でアナログ制作だったと言います。しかし、最近は映像制作にチャレンジをし、「枠組みに囚われずに、自分が好きな、ありのままに生きている」と語りました。また、彼は、「上手に行うことではなく、挑戦すること。そして、楽しむことも大切にしている。」と、力強く発言しました。

彼の趣味は、「100倍可愛くカッコよく描くアニメチックな似顔絵」。似顔絵のコンセプトは、お客さんに喜んでもらうことを重視し、一般的な似顔絵ではなく、イケメンに、可愛く描いてもらうとうれしいという人間の心理を少し突こうと思っていると話します。そして、この似顔絵が、周りの人から評価され、イベントで実施すると列が途切れなくらい並ぶこともあるようです。この似顔絵の料金については、お客さんが自分で決める仕組みとなっており、「100円から」と伝えと、不思議と1,000円や2,000円という金額を対価として提供いただけるそうで、この仕組みにより、彼自身、いろいろと学ぶことができたと話していただきました。

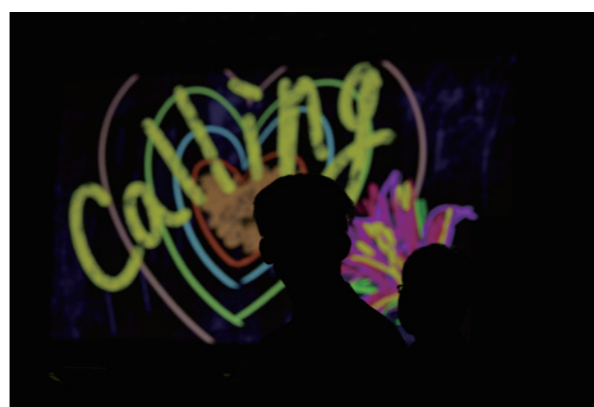
彼は、もともとイラストが苦手であり、抽象的なものを描くことが好きだったようで、当初は、上手く描くことができなかったそうです。しかし『チャレンジ』をすることで、少しずつ上手く描くことができるようになり、とても効率が良くなおかつ楽しいとも感じるようになったそうです。

会場の参加者にも、「一番大事なことは挑戦すること」と伝えました。「やりたいという情熱があって、一步を踏み出すことができる。」この一步がとても大事だと。

以前に、ある企業から100周年の動画を制作してほしいと依頼があり、彼自身、未熟な中で重大なことを任せられ、「やるぞ!」という思いで挑戦したことが、一步を踏み出した経験と語りました。この挑戦から、様々なことに対して少しずつどういうふうになればよいかが見えてきて、とても勉強になったと伝えていただきました。

会場の参加者にもっとも伝えたいことは、彼が何度も発言した「挑戦」。好きなことがあれば、必ず挑戦してほしいと、挑戦すればその先が見えてくると、強く語っていただき、講演を締めました。

講演の様子



Aグループ 将来の夢・未来の私

高知丸の内高等学校 2年 佐野 伶武 / 高知中央高等学校 2年 島本 育弥
高知小津高等学校 2年 太内 秀洋 / 高知大学教育学部 附属特別支援学校 3年 和田 木の実 / ファシリテーター 橋詰 拓尚



私たちは、「将来の夢・未来の私」というテーマで話し合いました。

その中で2つの軸が見えてきました。一つ目は「自分のため」と「みんなのため」を対称とし、二つ目は「近い未来」と「遠い未来」を対称に捉えて、グラフを作りました。

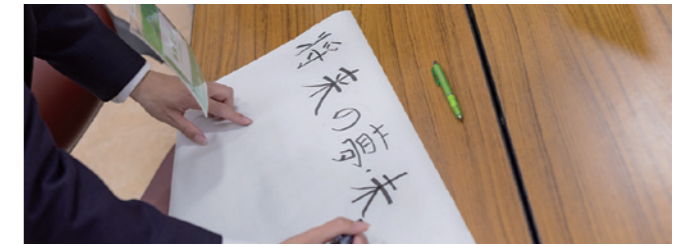
最初に、「自分のため」と「近い未来」についてです。私たちは学生でもあるので、大学に進むということが近い未来にあると思います。また、自分の好きなことをしたり、個性を伸ばすことは、自分のためであり、近い未来にも該当すると思いました。

「みんなのため」「近い未来」については、自分が好きなことをしたあとに、みんなのために今後どうしたいかということです。例えば、文科省に入ったり、親孝行をしたり、旅行に連れて行ったりするということです。



次に「自分のため」の中でも「遠い未来」という象限ですが、ここでは、海外で働いてみたい、外国に行ってみる、博識な人になるなど、少し時間がかかる内容が挙がりました。

「遠い未来」には、将来なりたい夢を実現するために頑張ったり、有名人になるなどもあります。



最後にまとめです。

夢を実現するためには、マーシーさんの講演にもあったように、挑戦をし続けることが大事なのではないかと思いました。夢は時間という1つの軸でつながっていて、それを叶えるためには、まわりの支援が必要になります。

近い、遠い、自分のため、みんなのためというように対称に書かれていますが、自分の近い未来のために学ぶことで遠い未来、地域みんなのために貢献するというように、対立のように見えて、実は大きな塊の1つの中にあるのではないかなというところに着地しました。



Bグループ
夢がなくても、〇〇に夢中なんです！
～将来歩む道、探し中～

須崎総合高等学校2年 春野高等学校3年
戸田 浩人 / 中島 望蘇乃
春野高等学校2年 ファシリテーター
平田 夏奈海 / 井上 青海



B
GROUP

私たちは、「夢がなくても、〇〇に夢中なんです」をテーマにディスカッションを行いました。

ディスカッションの中で、人生はサイクルしていると考えました。最初に物事や行動、勇気、挑戦があり、学校生活や絵を描くことなどを通して、経験をする。



そして、経験をすれば、自分の感情が出てくる。満足感や気持ちの感情は、他の人に共有できる。あるいは他の人の話を聞いて嫉妬することもある。

失敗を経験したら、それを受け止め、さらに努力をすることで結果が出る。結果が出たあとに、また別の挑戦をする。この繰り返しがあるのではと考えました。



このサイクルを自分に当てはめた時、将棋が頭に浮かびました。最初は、初心者同様の実力でした。そして初めて臨んだ大会で敗退しました。そこから、次は絶対負けたくないという気持ちで努力し、別の大会に挑戦しました。結果、勝つことができました。

まとめとしては、これから自分たちが何をしていくのか物事を考え、そこから物事に本気で取り組むことを意識しながら人生を歩んでいこうと思います。



◎グループ
長所対決!! から探る未来の高知
 ~「高知で暮らしたい」vs「県外で暮らしてみたい」~

高知県立大学 栗田 紗季 / 高知工科大学 坂本 一悟 / 高知大学 長野 竜也



私たちは、「長所対決!!から探る未来の高知」というテーマでディスカッションしました。まず、「高知のいいところ」と「県外のいいところ」を挙げていきました。

「高知のいいところ」としては、食が挙がりました。例として、北川村のゆずであったりと、高知県には新鮮な食べ物が多いです。



次に自然が挙がりました。大豊町では冬には積もった雪で遊べたり、高知には、きれいな川があるといった魅力があります。他には、田舎に行くとお裾分け文化があり、玄関に食べ物が置いてあるなど、人と人のつながりが近いという意見が出ました。

子育てについては、高知県では子育ての補助が手厚く、無料になる制度があるなど、子育てがしやすい環境があることが、良いところだと思います。



「県外のいいところ」では、主に交通の面が大きいです。新幹線など、多くの交通手段があり、レジャー施設に行きやすく、遊ぶ場所や楽しみも多いということです。

あとは、高知と共通して食が挙がりました。高知も美味しいものがありますが、県外ではお店がたくさんあるということが良いところとして挙がりました。

私たちのグループの結論としましては、「VS」としてはありますが、勝ち負けではなく、共存が大事なのではと考えました。高知の強みである自然、県外の強みである交通、これは持ちつ持たれつで、相互作用でどちらも活かされているのではないかなと思います。

私たちの結論は「共存」です。



Dグループ
LGBTQ+多様な性を語ろう
～性の多様性を認め、人々が暮らしやすい高知へ～

高知学園大学 大坪 蘭李 / 高知大学 中越 音羽 / 高知大学 横田 銀大



D
GROUP

私たちのグループは「LGBTQ+」について考えました。

まず、暮らしやすい高知にしていくためには、イメージを変えることが必要だと思いました。そして、性について考えたときにおかしいなと思った疑問点があります。

一つ目は、学校です。イメージを変えるためには、学校の教育を変えていくこと、学校の設備の多様化が必要だと思います。学校の教育で変えられる点としては、例えば、「ちゃん付け」と「君付け」を全部「さん付け」にすることや、水泳の授業を選択制の授業にすることなどが挙げられます。当たり前を変えていく授業を小さいころからしていくことで、何年、何十年経ったあとに、当たり前が変わった世界になるのではないのでしょうか。

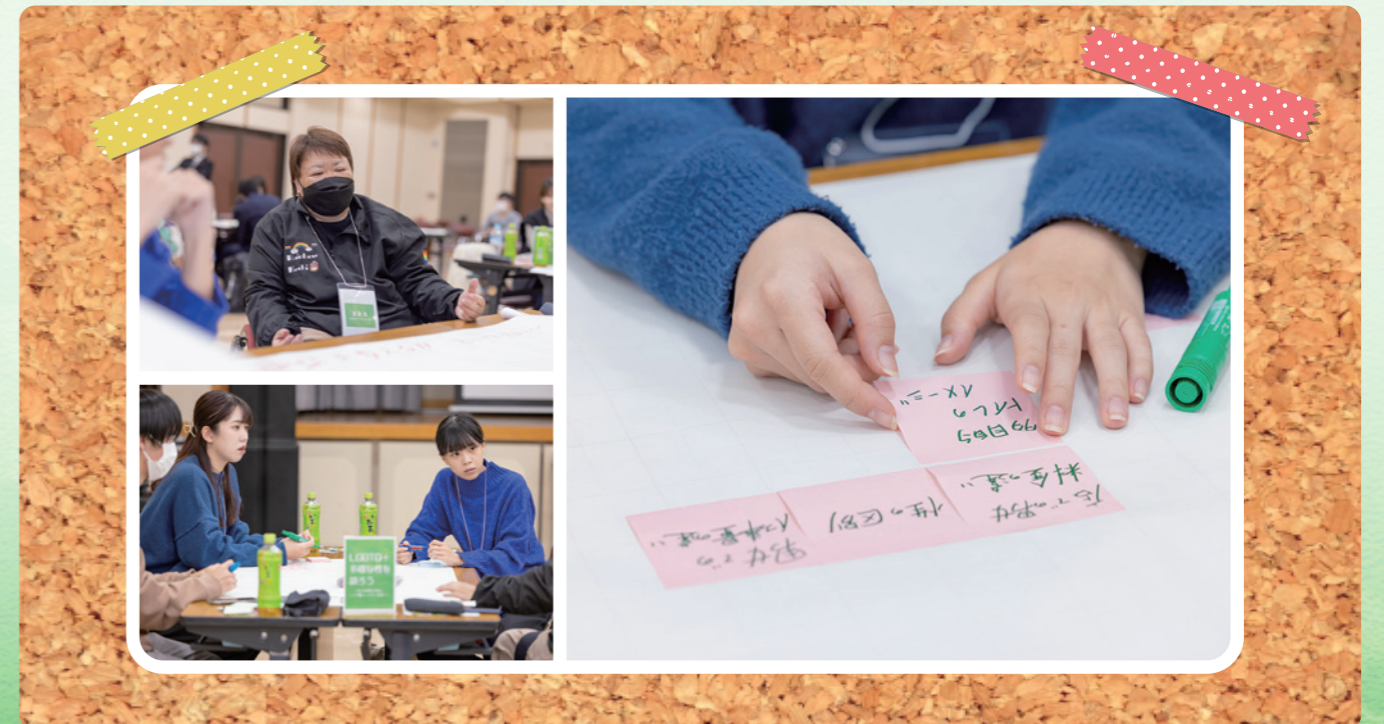


次に仕事や社会についてです。仕事量や業務内容など男女で求められる違いがあるので、性として区別するのではなく、一個人として一人を見ることや、無理に区別をしないことが、イメージを変えるために大事なことでないかと考えました。

さらに、家庭環境、同性婚などについては、さまざまな情報源（SNSやテレビなど）から家庭の概念を変えることで、お父さん、お母さんがいる家庭が当たり前ではなく、お母さんが2人いる家庭も当たり前で、子どもがいる、いないが重視されないことも大事であると考えました。



暮らしやすい高知をつくるためには、同性婚の制度を市町村だけでなく、高知県全体として行い、若い人に限らず年配者の方にLGBTQ+を周知することも重要だと思います。さらに、公共施設の構造も変えることも必要であると思います。例えば、「多目的トイレ+aみんなのトイレ」のような、障害をもった方だけでなく、多様な人々が使えるトイレをつくることも必要であるという意見が出ました。





テーマ/将来の夢・未来の私
眞鍋 大輔

私はほとんど話すこともなく、皆さんが話しているのを後ろで見っていました。

話している内容が、私が活動してきた中で知った真実が、言葉の端々に支援であったり、チャレンジというところに出ていました。今日、皆さんが話したように、夢を当たり前のように話し合うということが、私は夢に近づく一歩だと、チャレンジだと思いますので、ぜひいろんなところで夢を話していっていただけたらと思います。

私自身、とても勉強になりました。先ほど私がプレゼンしたときには、成功体験しか言っていなかったのですが、実際、アニメーションも失敗し続けています。しかし、これがとても勉強になっています。成功というのは行動したからこそ生まれるものであり、失敗をしたら次はどうするかを考えることが大切であると思います。

また、継続をしていくことで、いつかどこかで何かすごいことが生まれたりします。私が県内のある企業さんとつながったのは、外で似顔絵を描いていたときに、たまたまその企業の代表の方が散歩をしていて、声を掛けてくれたことがきっかけです。そういう訳で人生って何があるかわからないですよ。

最後に、皆さんに私が伝えたいことは、失敗を恐れずに、とりあえずくじ引きを引いてみるということをしてほしいです。必ずどこかで何か大きいチャンスがあるので、まずは、行動することをお勧めします。ありがとうございます。

ファシリテーターさんが、すごく上手にファシリテイトをしてくださいました。ありがとうございました。皆さんも、ありがとうございました。



テーマ/夢がなくても、
○○に夢中なんです！
MARCHY



テーマ/長所対決!! から
探る未来の高知
猪野 大助

話していて長所などの意見やアイデアは結構出のですが、それをどうまとめるかがすごく難しいテーマだったなというように感じました。

最初、私もこのテーマを見ていて、「VS」と書いているので、高知を勝たすほうに頑張るのかなと思っていました。また、私自身も高知を盛り上げたいと思って活動しているので、そのような方向で話を進めていこうかなと思いましたが、皆さんが議論している中で、「共存」という言葉が出てきたことが、とても良かったなと思っています。

関係人口を増やしていくなど、都会や県外とのつながりを大事にしたらいいのではないかという話になったことも良かったなと。私自身も勉強させてもらえたなというように感じています。ありがとうございました。



テーマ/LGBTQ+
多様な性を語ろう
宮田 真

LGBTQ+は、最近いろんなところで見聞きするようになったかなと思いますが、まだまだ周知されていないということを今回、感じた部分もありました。皆さん、学生の方たちがいろんなイメージで話をしてくれたときに、私もそこで何か気づかされた部分がありました。知ること、知ろうとすることだけでも全然違うのかなと思います。多種多様性の高知県だと思いますので、いろんな人がお互い認め合える高知県になっていってほしいなと思います。

本日はありがとうございました。



講師展示



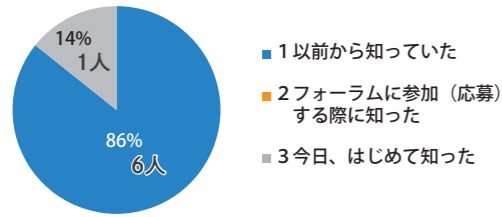
講師 - アイスブレイク

会場の参加者と講師の交流を行いました。
参加者の中から1名協力いただき、似顔絵を披露しました。

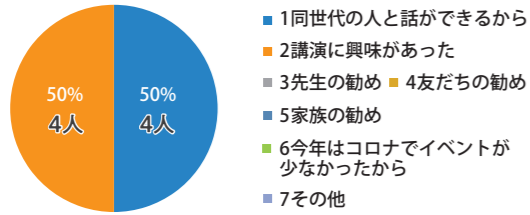


ディスカッション参加者

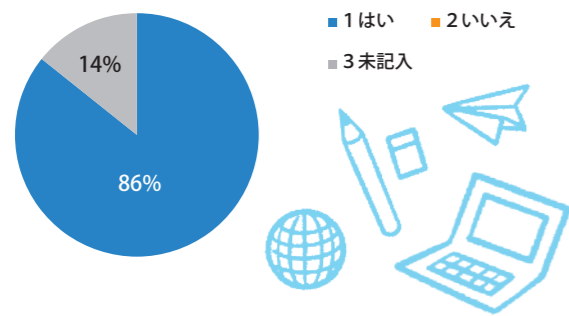
Q1. あなたは「高知県子ども条例」を知っていましたか？



Q2. フォーラムに参加した動機を教えてください。（複数回答可）



Q4. フォーラムの中で、自分の意見を言えましたか？



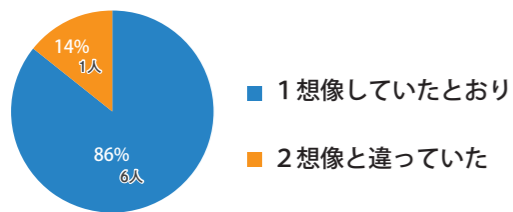
Q3. フォーラムに参加した感想をお聞かせ下さい。

- たくさんの方々の意見を聞くことができ自分に必要な知識が増えたので良かったです。
- 新しいことに参加する意味を知れた。
- 昨年参加して、興味があったから。
- 高校最後なので、思い出として色々なことが知れて良かったです。
- 自分とは大きく違う夢もあって面白かった。
- 自分の意見を知れて良かったです。

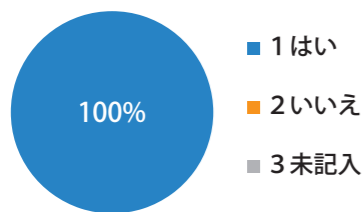
Q5. 同世代の人や、専門家、ファシリテーターの話を聞いてどう思いましたか？

- 自分よりも深い知識などを持っていて勉強になりました。
- 進行が上手い!!
- 新しい発見や見識を深められた。
- ディスカッションが円滑に進んだ。自分たちの意見を引き出してもらった。
- 同世代の人から多様な意見を聞き、参考になった。
- 沢山の意見を知れて良かったです。
- 色々な方と話せて嬉しかったです。

Q6. 事前に想像していたフォーラムと実際のフォーラムのイメージは違っていましたか？



Q7. 次回「こうち子ども未来フォーラム」に参加したいですか？



※どのような内容なら参加しやすい（参加したい）ですか？

- 意見をもっと多く話せる場を増やしたら良いと思います。
- 今回と同じでいい!
- レスリングの育英大の桜井つぐみ選手の講演。オリンピックイヤーなので是非!
- 参加したい子どもが少ないのが、現状であり、時期ももう少し早くすれば良いと思う。
- ラフに話合える場所があったらいい。

ファシリテーター・専門家

Q1. 子どもたちの意見（発表）を聞かれてどう思いましたか？

- 自分の将来や好きなことに対して深く考えることができていると感じた。挑戦することの大切さを知ることができた。
- テーマについての考え方について、おもしろいと思うことが多かった。
- みんな様々な意見を持ちつつ、一貫性のある発表で素敵と思った。
- 自分が持たない意見をたくさん聞けてためになった。これからの生活に活かそうだ。
- 高校生はよく考えていると感じた。自分でも考えていなかった意見が多く、とても勉強になった。
- まとめ方もグループごとに色があり、勉強になりました。
- 皆さん議論した内容をしっかり発表できていました。そんな考えがあったんかと思うこともあり、とても勉強になりました。
- しっかり意見を持っていて驚いた。
- ディスカッションを通し、多くの事を学びました。学生とテーマについて話し合い新たなアイデアが生まれ、凄く楽しかったし勉強になりました。
- 自分のグループは大学生でしたが、活発に意見を出し合って意見交換をしている姿を見て、こういう若い人がどんどん増えてほしいと感じました。
- LGBTQについて、何に困っているのか、ピンときていない学生もいましたが、話して行くうちに色々出てきました。
- 他のグループの意見は色々で、自己発信が素晴らしいと感じました。
- あの短時間の中で、皆さんがしっかりと意見を展開していたことに興味いたしました。ディスカッションの中で、多様な価値感や気づき、一つ一つの意見の中に新しい時代が感じられて、私自身いい刺激になりました。

Q1. あなたは「高知県子ども条例」を知っていましたか？

①以前から知っていた	6
②参加する際に知った	6
③今日、はじめて知った	0
合計	12

Q1. あなたは「高知県子ども条例」を知っていましたか？



Q2. フォーラム全体を通じての感想をお聞かせ下さい。

- 高知県の未来について考える良いグループディスカッションになった。特にLGBTQ+についての理解を深めることができた。
- 学生のゆたかな考え方が知れるきっかけになり、勉強になった。考え方を知ることが、重要だと気付かされた。
- お互い認め合い、知ろうとする気持ちが大切だと思った。
- 例年に比べて人数が少なかったものの、人数に負けない意見の質でとても良かった。また次回も参加したい。
- 高校生が学べる機会は、すごく良いと思った。今回のフォーラムを通して高校生は未来について考えるとても良い時間になったと思う。
- とても学びになる会なので、参加学生が増えてほしいと思いました。
- 新たな視点で物事を考えることはあまり無かったので、楽しませていただきました。
- 自身の学びにもなったし、良い経験になった。
- 登壇をさせて頂いた自分が誰よりも学べたと自負しています。学生、大学生さんと意見を交わしたディスカッションが凄く学びになりました。ご協力頂けスタッフの皆様本当にありがとうございました。
- 今回のテーマは、これからの若者が直面する課題ばかりで、参加した学生たちのこれからは楽しみになるイベントでした。
- 今の若い人たちの意見をきけることは、有意義な時間でした。聞いた後、僕たちに何かできる事があれば行動に移さないといけないと感じました。
- 講師の方の情熱あふれるお話もよかったですし、大学生のファシリテーターもすごくよい経験になると感じました。

Q3. 次回開催時に改善した方が良いお気づきの点がありましたらお聞かせ下さい。

- 題がなかなか難しかった。 ● もう少し広告して広めたいと思う。とても良い数少ないディスカッションの場だから、続けてほしい。
- 近年は地域活動に興味をもっている学生も増えていると思います。フォーラムを通して、フィールドワークできるような団体と繋がるようなイベントがあれば、現実につながるフォーラムになるのではないかと思います。
- 自己発信が苦手な学生も、聞けるようにしてあげたらいいと思いました。もしくは、テーマ毎に意見を書けるコーナーを作成して、当日このような意見もいただきました。とグループ毎に伝えてあげてもいいと思います。
- 前回からの参加者が多くいらっしまったと思いますが、子どもの参加者より大人の方が多かったように思います。新たな参加者の獲得のため裾野が広がる取り組みを、年間を通して継続して行う活動への展開を期待します。

教えて!

こども基本法



Q こども基本法ってなに？

第1条 (目的)

すべてのこどもが幸せな生活を送ることができる社会を目指して、その基本的な考え方をはっきりとさせ、国や都道府県、市区町村など社会全体で、こどもに関する取組「こども施策」を進めるためにつくられた法律です。令和5年4月1日に施行されました。



Q こどもに関する取組「こども施策」で大切にしていることは？

第3条 (基本理念)

- 1 すべてのこどもが大切にされ、基本的な人権が守られ、差別されないこと
- 2 すべてのこどもが大事に育てられ、生活が守られ、愛され、保護される権利が守られ、平等に教育を受けられること
- 3 すべてのこどもが、年齢や成長の程度に合わせて、自分に直接関係することに意見を言えたり、さまざまな活動に参加できること
- 4 すべてのこどもの意見が年齢や成長の程度に合わせて、大事にされ、こどもの今とこれからのため最もよいことが優先して考えられること
- 5 子育てをしている家庭のサポートが十分に行われること、家庭で育つのが難しいこどもに家庭と同じような環境が用意されること
- 6 家庭や子育てに夢を持ち、喜びを感じられる社会をつくること



Q こどもに関する取組「こども施策」はどうやって進めていくの？

第9条 (こども施策に関する大綱)
第10条 (都道府県こども計画等)
第17条・第18条 (こども政策推進会議)

総理大臣をリーダーに、こどものみなさんの意見を聞きながら、こども施策の基本的な方針(こども大綱)をつくります。この方針をもとに、都道府県や市区町村が「こども計画」をつくり、社会全体でこども施策に取り組んでいきます。



第11条 (こども施策に対するこども等の意見反映)

国や都道府県、市区町村は、こどもに関する取組「こども施策」について、みなさん(こどもや若者)の意見を聞きながら進めていきます。



Q 私たちはどうやって意見を言うの？

第11条 (こども施策に対するこども等の意見反映)

たとえば、次の方法を考えます。

- ・インターネットを使ったアンケート
- ・国や都道府県、市区町村で働く職員が直接会って意見を聴く取組
- ・こども施策に関する会議へのこどもや若者のみなさんの参加
- ・こどもや若者を対象としたパブリックコメント(国や都道府県、市区町村が意見を募集すること)



Q 私たちから聴いた意見はどうなるの？

第11条 (こども施策に対するこども等の意見反映)

みなさんから聴いた意見を大事にして、こどもに関する取組「こども施策」を進めていきます。たとえば、みなさんから聴いた意見をこどもに関する取組を話し合う大事な会議に届けます。そして、国や都道府県、市区町村は、施策の目的をふまえ、みなさんの意見が実現できるかどうかを考えて、こども施策に取り組んでいきます。



高知県では、令和6年度に「インターネットを使ったアンケート」や「こどもや若者を対象としたパブリックコメント」等によりみなさんの意見を募集します！すべてのこどもや若者が『幸せに暮らせる高知県』を一緒につくっていきましょう！



もっと知りたい方はこちら！
こども家庭庁ホームページ《こどものみなさんへ》

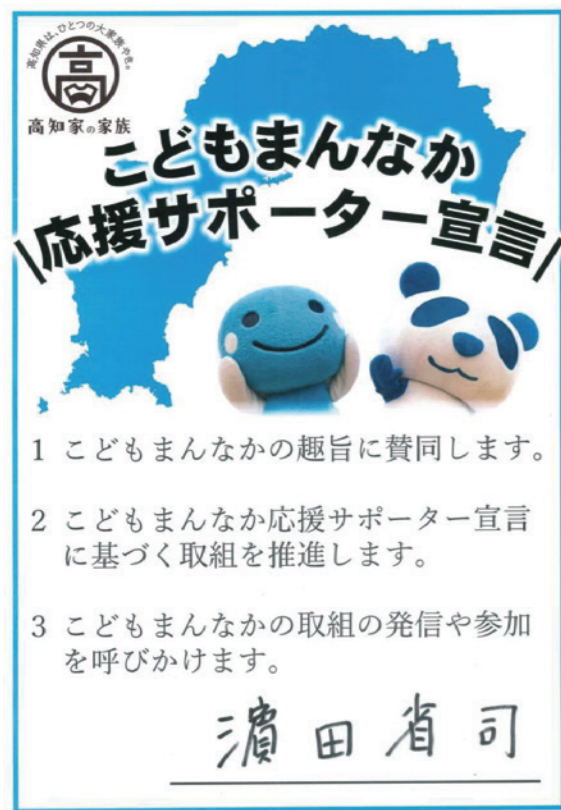


高知家こどもまんなか応援サポーター宣言

NEWS

濱田省司知事、くろしおくん、子育て応援キャラクターのるんだが、「こどもまんなか応援サポーター」に就任しました！

こども家庭庁では、**こどもたちのために何がもっともよいことを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するという「こどもまんなか宣言」の趣旨**に賛同し、自らもアクションに取り組んでいただける個人、企業・団体、自治体を、「こどもまんなか応援サポーター」と呼んでいます。



高知家こどもまんなか応援サポーター宣言

- 1 こどもまんなかの趣旨に賛同します。
- 2 こどもまんなか応援サポーター宣言に基づく取組を推進します。
- 3 こどもまんなかの取組の発信や参加を呼びかけます。

濱田省司

2 こどもまんなか応援サポーター宣言に基づく取組を推進

- ①「子育て応援の店」で利用できるデジタルクーポンの付与等により、「高知家子育て応援パスポートアプリ」の活用を促進し、子育て世帯の楽しいおでかけを応援します。
- ②「子どもの環境づくり推進委員会」のこども委員と知事が直接対話し、意見を聞いて施策に反映します。NEXT
- ③「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」や「少子化対策推進県民会議」との連携など、民間企業と高知県が協力して少子化対策を進めます。



3 こどもまんなかの取組の発信や参加を呼びかけ

こどもや若者を対象とした取組に「#こどもまんなかやってみた」を付けて発信します。県民のみならず、それぞれにできるこどもまんなかアクションを実施していただき、「#こどもまんなかやってみた」を付けた発信にご協力をお願いします。

こどもまんなかアクションとは？

- 「電車の乗り降りで、ベビーカーを優先する」
- 「トイレの行列など、お子さん連れに順番を譲っている」
- 「荷物を持っているお子さん連れに、ドアを開けてあげる」
- 事業所の方であれば、「お店に子連れ優先席を作った」「授乳スペースを作った」など様々で、正解はありません。

妊婦さんに席を譲ってみた！
赤ちゃんを抱っこ中のママにドアをあけてみた！
ベビーカーを押しているママにエレベーターを譲ってみた！
わたしたちの「#こどもまんなかやってみた」TikTokで配信中！



みんなに知ってほしい！ 高知県子どもの環境づくり推進委員会

高知県子どもの環境づくり推進委員会は、『高知県子ども条例』に基づいて設置されています。活動内容は、県が実施する子どもの環境づくりに関する取組に関して意見を伝えたり、子ども条例フォーラム（こうち子ども未来フォーラム）の内容を検討したりしています。

委員には、15歳以上18歳未満のこどもたちが就任し、大人の委員と意見を交わしています。現在は、第9期子ども委員として、5名の高校生が就任しています。

2023
08/26

第9期子ども委員と子ども委員OBOGによる座談会を開催！

平成18年に設置された高知県子どもの環境づくり推進委員会には、29名の子ども委員OBOGがいます。この度、第1期から第8期の子ども委員7名と、第9期子ども委員5名で座談会を開催しました。座談会では、第9期子ども委員が設定したテーマに沿って意見交換をした後、交流会を行いました。

こどもたちに自分たちの住む町の暮らしや、それに繋がる選挙に興味を持ってもらう方法

- ・「興味があることに没頭する」「疑問に思うことを追求する」「不快に思うことをきちんと伝える」というような人間としての根本的なところが、自己決定に繋がっていくと思う
- ・幼い頃から意思決定ができる機会を家庭や教育の場で作っていくことが大切である
- ・こどもも1人の人として意見を尊重し、受け止めてあげることが大切
- ・選挙運動をする車など、大々的にやっているものは、すべて大人目線のものが多い
- ・こどもたちは、無関心でいられても無関係ではられない

不登校のこどもたちの置かれている環境から考えるあったら良いと思う環境

- ・不登校を解決することも大事だが、学校の通い方が多様化しているという視点も必要
- ・大人は、生きづらい環境から抜け出せる手段が多いが、こどもは少ないと思う
- ・居れる場所が多いほど、いろんな面が見えてくるので、社会とつながれる場所が一つでも多い方がよいと思う
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーだけではなく、様々な大人と交流する機会があればいいと思う
- ・幼い頃から自分の意思決定ができる場を安心して提供してもらえたり、困難に差し掛かった時にそれを乗り越える力や、誰かと協力して解決する力を身につけるような経験が必要

2023
09/10

知事と第9期子ども委員、子ども委員OBOGによる座談会を開催！

8月26日に開催した「子ども委員OBOGによる座談会」において、意見交換した内容を紹介し、知事と意見を交わしました。



知事からのメッセージ

日本の社会全体が子どもを中心とする社会を目指していこうとしている。一方的に押し付けるのではなく、こどもと大人が双方向で意見交換をし、一つのビジョンを作ることができる社会を目指していきたいと思う。



こうち子ども 未来フォーラム 2023

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

ディスカッション参加者

A グループ テーマ / 将来の夢・未来の私

高知小津高等学校	2年	太内 秀洋
高知丸の内高等学校	2年	佐野 伶武
高知中央高等学校	2年	島本 育弥
高知大学教育学部附属特別支援学校	3年	和田 木の实

B グループ テーマ /

夢がなくても、〇〇に夢中なんです！～将来歩む道、探し中～

須崎総合高等学校	2年	戸田 浩人
春野高等学校	3年	中島 望蘇乃
春野高等学校	2年	平田 夏奈海

C グループ テーマ / 長所対決!! から探る未来の高知 ～「高知で暮らしたい」vs「県外で暮らしてみたい」～

高知県立大学	栗田 紗季
高知工科大学	坂本 一悟
高知大学	長野 竜也

D グループ テーマ / LGBTQ+多様な性を語ろう ～性の多様性を認め、人々が暮らしやすい高知へ～

高知学園大学	大坪 繭李
高知大学	中越 音羽
高知大学	横田 銀大

講師

絵描きの MARCHY (マーシー) 吉村 勝己

専門家

NPO 法人 GIFT 眞鍋 大輔
絵描きの MARCHY (マーシー) 吉村 勝己
NPO 法人 元気おとよ 猪野 大助
NPO 団 レインボー高知 代表 宮田 真

ファシリテーター

関西学院大学 橋詰 拓尚
高知県立大学 井上 青海

司会

須崎総合高等学校 2年 戸田 浩人
高知中央高等学校 2年 島本 育弥





高知県子ども・福祉政策部 子育て支援課



〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号
TEL:088-823-9640 FAX:088-823-9658